

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 マミヤ・オーピー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7991 URL <http://www.mamiya-op.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 矢崎 登

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 吉野 利彦

TEL 03-5437-2311

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,927	30.6	317	237.2	397	385.2	290	392.5
21年3月期第1四半期	3,007	—	94	—	82	—	58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	3.11	—
21年3月期第1四半期	0.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	12,227	6,126	50.1	65.68
21年3月期	12,012	5,761	48.0	61.76

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,126百万円 21年3月期 5,761百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	6,670	14.1	210	109.7	200	406.4	150	305.1	1.61
通期	13,800	△6.2	860	41.7	830	169.9	730	73.0	7.83

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 1社(社名 エフ・エス株式会社)

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 93,481,700株 21年3月期 93,481,700株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 200,914株 21年3月期 195,423株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 93,284,766株 21年3月期第1四半期 93,313,141株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現には潜在的风险や不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。従いまして、諸要因の変化により実際の業績は記載項目と大きく異なる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融危機の深刻化と景気の急速な悪化が続く中で幕を開け、設備投資計画が過去最悪の落ち込みを示し、雇用情勢の悪化に歯止めがかからない等、景気の先行き不透明感が払拭できない一方で、在庫調整の進展等を背景として、急激な減少に見舞われていた生産・輸出等に持ち直しの動きがあり、個人消費にも底打ち感が生じるなど、硬軟の見通しが交錯する中で推移しました。

このような経済環境の下、当社グループは、平成20年4月のマミヤ・オービー・ネクス株式会社の子会社への譲り受けによる紙幣搬送システム等事業への新規参入に続き、本年4月には、エフ・エス株式会社を子会社とし遊技場向けシステム関連事業に進出する等、遊技機周辺機器業界における依然として厳しい経営環境を克服すべく、事業領域の拡大による経営基盤の強化を着実に進めております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は39億27百万円（前年同期比30.6%増）、営業利益は3億17百万円（前年同期比237.2%増）、経常利益は3億97百万円（前年同期比385.2%増）、四半期純利益は2億90百万円（前年同期比392.5%増）となりました。

（電子機器事業セグメント）

電子機器事業セグメントは、パチンコ周辺機器業界における事業環境が引き続き悪化する中、自社ブランド紙幣識別機の新品開発と販路拡大に加え、東京・五反田に本社・管理部門及び営業部門を集約し、さらに技術開発センターを設ける等、戦略的かつ迅速な意思決定が可能な態勢を整えると共に、子会社としたエフ・エス株式会社が全国に展開する営業所のネットワークを、券売機顧客への販売及び保守サービス充実の拠点として活用することを模索する等、健全かつ強固な経営基盤確立のための様々な施策と着実な先行投資を重ねております。さらに、当第1四半期につきましては、これに旧仕様カードユニットの大規模な入替受注等が加わり、売上・利益共に、前年同期を上回るペースで推移しました。

この結果、電子機器事業セグメントの売上高は35億48百万円（前年同期比56.7%増）、営業利益は4億12百万円（前年同期は25百万円）となりました。

（スポーツ事業セグメント）

スポーツ事業セグメントは、国内市場においては、「USTMamiya」ブランドを掲げた新たな事業体制の下で積極的な営業展開を図り、「AXIV Core」の好評等によりカタログシャフトの売上が増加したものの、市況低迷の影響を大きく受けたOEMシャフトの販売が、新規顧客獲得に努めたものの大幅に減少し、売上が低迷いたしました。

一方、海外市場においては、今秋市場投入を予定している新シャフト「ATTAS」をツアープロに提供する等、積極的なマーケティングによる市場浸透を図り一定の成果を上げたものの、世界同時不況の下、シャフトをはじめとするゴルフ産業における全てのセグメントにおいて売上が急減する中で、当社もシェアは維持したものの売上が大幅に減少し、これに加え、グローバル・ブランドとしての「USTMamiya」確立のための先行投資等による経費増大等もあり、営業損失を計上することとなりました。

この結果、スポーツ事業セグメントの売上高は3億79百万円（前年同期比48.9%減）、営業損失95百万円（前年同期は営業利益68百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は122億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億15百万円増加いたしました。これは主として、売上債権が13億9百万円減少したものの、現金及び預金の増加8億92百万円及びエフ・エス株式会社を連結に含めたことによるのれんの増加2億7百万円、投資その他の資産におけるその他の増加1億96百万円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は61億円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の増加2億35百万円等があったものの、仕入債務の減少9億39百万円等があったことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は61億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億65百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加2億90百万円等があったことによるものです。

（2）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、40億98百万円となり、前会計年度末に比べ8億69百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億9百万円の増加（前年同期は1億8百万円の資金減少）となりました。これは主として、仕入債務の減少10億51百万円等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益

3億11百万円及び売上債権の減少15億94百万円等の資金増加要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億49百万円の減少(前年同期は8億58百万円の資金減少)となりました。これは主として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入1億8百万円があったものの貸付による支出2億円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、84百万円の増加(前年同期は重要な増減なし)となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出14百万円があったものの、長期借入れによる収入1億円があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、平成21年5月13日付の「平成21年3月期 決算短信」において公表いたしました予想に変更はございません。

しかしながら、現在、業績の進捗状況等を踏まえ業績予想の見直しを検討しており、その結果、業績予想の変更が必要となった場合には、その内容が確定次第、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社: エフ・エス株式会社

平成21年4月1日付で、エフ・エス株式会社の全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,198,881	3,306,616
受取手形及び売掛金	3,331,074	4,640,321
有価証券	12,458	12,458
商品及び製品	622,424	673,022
仕掛品	379,398	362,681
原材料及び貯蔵品	877,433	961,677
繰延税金資産	39,928	9,175
その他	305,709	109,718
貸倒引当金	△34,173	△31,316
流動資産合計	9,733,137	10,044,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	577,757	541,568
減価償却累計額	△361,799	△332,895
建物及び構築物(純額)	215,958	208,673
機械装置及び運搬具	830,141	741,849
減価償却累計額	△679,489	△608,254
機械装置及び運搬具(純額)	150,652	133,595
工具、器具及び備品	887,421	803,796
減価償却累計額	△809,539	△730,248
工具、器具及び備品(純額)	77,881	73,547
土地	1,913	1,913
建設仮勘定	36,768	30,101
有形固定資産合計	483,173	447,830
無形固定資産		
のれん	383,092	175,299
その他	10,011	7,695
無形固定資産合計	393,104	182,994
投資その他の資産		
投資有価証券	974,954	954,510
長期貸付金	377,799	379,215
繰延税金資産	88,051	14,959
その他	805,667	609,506
貸倒引当金	△628,502	△621,038
投資その他の資産合計	1,617,970	1,337,153
固定資産合計	2,494,247	1,967,978
資産合計	12,227,385	12,012,334

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,756,578	3,696,442
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	685,661	585,661
未払法人税等	34,581	22,767
賞与引当金	94,347	33,508
その他	671,443	225,554
流動負債合計	4,332,612	4,653,933
固定負債		
社債	340,000	340,000
長期借入金	851,397	716,241
退職給付引当金	425,988	452,105
役員退職慰労引当金	64,483	26,785
その他	86,401	62,190
固定負債合計	1,768,271	1,597,322
負債合計	6,100,884	6,251,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,958,747	3,958,747
利益剰余金	2,031,711	1,741,314
自己株式	△30,948	△30,598
株主資本合計	5,959,510	5,669,463
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,968	△5,320
為替換算調整勘定	158,022	96,935
評価・換算差額等合計	166,990	91,615
純資産合計	6,126,500	5,761,078
負債純資産合計	12,227,385	12,012,334

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,007,031	3,927,745
売上原価	2,138,362	2,732,530
売上総利益	868,668	1,195,215
販売費及び一般管理費	774,639	878,195
営業利益	94,029	317,019
営業外収益		
受取利息	2,205	1,405
受取配当金	—	18,773
為替差益	—	65,410
固定資産賃貸料	10,298	10,298
その他	15,136	4,857
営業外収益合計	27,640	100,744
営業外費用		
支払利息	13,669	8,308
固定資産賃貸費用	9,468	9,468
為替差損	15,233	—
その他	1,280	2,034
営業外費用合計	39,651	19,811
経常利益	82,018	397,952
特別利益		
貸倒引当金戻入額	44	2,236
役員退職慰労引当金戻入額	—	9,236
特別利益合計	44	11,472
特別損失		
固定資産除売却損	—	185
早期割増退職金	—	97,870
特別損失合計	—	98,056
税金等調整前四半期純利益	82,062	311,368
法人税、住民税及び事業税	26,666	20,251
法人税等調整額	△3,573	719
法人税等合計	23,093	20,970
四半期純利益	58,969	290,397

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	82,062	311,368
減価償却費	49,686	21,586
のれん償却額	10,956	22,469
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,441	1,457
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,162	26,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,859	△93,877
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,630	△6,923
受取利息及び受取配当金	△2,205	△20,178
為替差損益 (△は益)	15,233	△65,410
支払利息	13,669	8,308
固定資産除売却損益 (△は益)	—	185
売上債権の増減額 (△は増加)	△373,164	1,594,266
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△62,651	190,140
仕入債務の増減額 (△は減少)	144,135	△1,051,927
その他	5,980	△3,314
小計	△98,527	934,950
利息及び配当金の受取額	2,190	20,938
利息の支払額	△6,399	△2,101
法人税等の支払額	△5,810	△44,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	△108,547	909,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△22,500
有形固定資産の取得による支出	△23,083	△15,801
有形固定資産の売却による収入	—	1,578
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出又は収入 (△は支出)	△793,000	108,287
貸付けによる支出	—	△200,000
その他	△2,091	△21,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△858,174	△149,915
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	—	△14,844
自己株式の取得による支出	△373	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	84,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,101	25,324
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△991,197	869,765
現金及び現金同等物の期首残高	4,517,162	3,229,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,525,965	4,098,881

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,264,366	742,664	3,007,031	-	3,007,031
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,264,366	742,664	3,007,031	-	3,007,031
営業利益	25,719	68,310	94,029	-	94,029

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	電子機器 事業 (千円)	スポーツ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,548,352	379,392	3,927,745	-	3,927,745
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,548,352	379,392	3,927,745	-	3,927,745
営業利益又は営業損失(△)	412,935	△95,916	317,019	-	317,019

(注) 1. 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

2. 各区分に属する主な製品は以下のとおりであります。

(1) 電子機器事業……………パチンコ関連機器、小型自動券売機、紙幣搬送システム及び識別機、
薄膜膜厚計、OEM機器、遊技システム及び磁気カードシステムの設置・
保守

(2) スポーツ事業……………ゴルフシャフト、ゴルフ関連用品、遮断桿

3. 当第1四半期連結累計期間において、エフ・エス株式会社を連結の範囲に含めたことにより、遊技システム及び磁気カードシステムの設置・保守が主な製品（電子機器事業）に加わっております。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,396,151	94,024	516,855	3,007,031	-	3,007,031
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	281,355	4,593	285,949	(285,949)	-
計	2,396,151	375,380	521,448	3,292,980	(285,949)	3,007,031
営業利益	29,896	14,392	49,741	94,029	-	94,029

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,651,437	62,270	214,036	3,927,745	-	3,927,745
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	81,147	9,140	90,288	(90,288)	-
計	3,651,437	143,418	223,177	4,018,034	(90,288)	3,927,745
営業利益又は営業損失(△)	409,174	△16,912	△79,601	312,661	4,358	317,019

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 (1) アジア……………バングラデシュ、中国
 (2) 北米……………米国
 3. 当第1四半期連結累計期間における配賦不能営業費用はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	386,496	46,254	178,602	1,559	612,912
II 連結売上高(千円)	-	-	-	-	3,007,031
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	12.9	1.5	5.9	0.1	20.4

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	欧州	アジア	その他	計
I 海外売上高(千円)	151,009	23,829	70,382	4,275	249,497
II 連結売上高(千円)	-	-	-	-	3,927,745
III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%)	3.9	0.6	1.8	0.1	6.4

- (注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 北米……………米国、カナダ
 欧州……………ドイツ、イギリス
 アジア……………中国、シンガポール
 その他……………中東、南米
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。